「デジタル食育」のPDCAサイクル

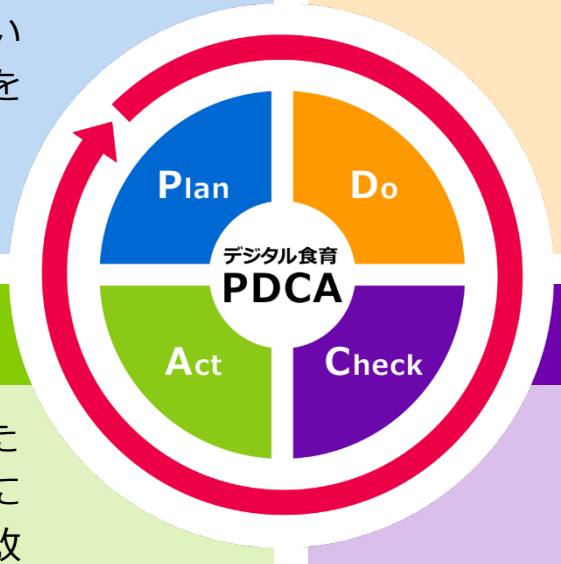
「デジタル食育」のPDCAサイクルとは、「Plan（計画）」→「Do（実行）」→「Check（評価）」→「Act（改善）」のサイクルを実行することです。 「デジタル食育」のプロジェクトごとにスピーディに実施内容を「評価」し、次のプロジェクトの「改善」につなげることが大切です。

Plan（計画）

「デジタル食育」を企画する前に他の事例や世間のトレンド等を調査します。
リアルタイムの気づきを得たうえで、いつまでにどのような「デジタル食育」を実行するかを具体的に企画します。

Do（実行）

「Plan（計画）」で立てた目標をもとに 「デジタル食育」を実施します。
ここでのポイントは食育活動を行動に移せるようにタスク化していくことです。



Act（改善）

「Check（評価）」段階で明確になった「デジタル食育」の課題や問題点もとに次回以降の「デジタル食育」に向けた改善策を考案します。

Check（評価）

「デジタル食育」を実施した結果、「Plan（計画）」で設定した目標がどの程度達成されたのか評価します。
参加者アンケートを行うなどして、今後の効果的な「デジタル食育」活動の参考とします。

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

「デジタル食育」のPDCAサイクル

まず「デジタル食育」の計画を明確にし、実行後に活動の評価や改善ができるようプロジェクトごとに管理しましょう。
次回以降の食育活動にフォローアップできるよう、常にPDCAを意識して「デジタル食育」を進めましょう。

「デジタル食育」PDCAチェックシート

プロジェクト名	オンライン農業体験の実施	担当者名	中村

Plan（計画）	Do（実行）	Check（評価）	Act（改善）
■目的 オンライン農業体験を実施することで子供たちに農業の大切さ、野菜のおいしさを感じてもらう。 「デジタル食育」のプロジェクトを実施する目的を記入します。 ■「デジタル食育」の企画内容 「〇〇ファームでオンライントマト狩り！」 オンラインで画面共有しながら農園を紹介し、房付きのトマト狩りを行いトマトのおいしさを味わってもらう。 他の事例や世間のトレンドを参考にしながら、「デジタル食育」の企画を立案します。	■取組内容 農園から事前にトマトを発送しておき、オンラインでトマト狩りを行った後に、参加者全員でトマトを味わう体験型イベント。 プロジェクトの取組内容を具体的に記入します。 ■実行アウトプット（実施回数等） 年初にテストとして1回実施。その後、本年度中に5回実施。 オンラインイベントや食育動画、SNS発信などの実施回数などを記入します。	■検証結果 参加者アンケートからは「家にいてトマト狩りができ楽しかった」「手間をかけてトマトをつくっていて、大切に食べたいと思った」という声あり。 家族からの反応として、今後も取り組んでほしいとの要望が多くあったが、一部、通信環境の改善が必要な部分があった。 本年度は、5回の開催を達成した。 「参加者アンケート」や「関係者への事後レビュー」などを行い、計画の達成状況等を具体的に記載します	■検証結果を受けた改善内容 改善点① 次回以降は、通信環境を改善し、通信速度が速く安定した回線を用意して開催する。 改善点② 次年度はオンライン農業体験と料理教室の2部構成で開催。 改善点③ 来年度は10回開催を目標とする。 検証結果を受けて今後の改善点や次回の食育活動の方針等を決めて記入します。

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

令和4年3月発行

「デジタル食育」実証ダイジェスト映像

本デジタル食育ガイドブック制作にあたり、「オンライン会議システム等を活用した食育活動」および「オンライン動画を活用した食育活動 」の実証を行い、デジタル食育活動の課題や改善点の検証を行いました。その様子をまとめたダイジェスト動画を下記に掲載していますのでご参照ください。
いずれも、企画・準備が重要ですので、企画段階の打合せの様子を中心に動画にまとめています。

「オンライン会議システム等を活用した食育活動」実証ダイジェスト(動画)
https://www.youtube.com/watch?v=O_MSTPoTmy4

今後URL・QRコード差し替え

「食育動画を活用した食育活動」実証ダイジェスト(動画)
https://youtu.be/2jHmiZ1z-x4

このデジタル食育ガイドブックは、農林水産省 令和３年度食育活動の全国展開委託事業（デジタルを活用した食育の推進）の一環として、以下の検討委員により構成されるデジタル食育検討委員会を開催の上、編集しました。

デジタル食育検討委員会 検討委員

（座長）

赤　松　利　恵　　お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授

（委員）

滝　村　雅　晴　　株式会社ビストロパパ 代表取締役／パパ料理研究家
筒　井　洋　一　　筒井ラーニングLab合同会社 代表／前京都精華大学 人文学部 教授
藤　本　奈　巳　　公益財団法人ダノン健康栄養財団 専務理事
もあい かすみ　　栄養士／料理系インフルエンサー
吉　田　恭　寛　　吉田牧場 代表

※敬称略・50音順

制作：ＣＵＥ株式会社
支援：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社